



無所属 保守派

柏原市議会議員

山口ゆか

コロナ禍でも 力強く生きる

2020年、中国武漢で発症したと言われる新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続いているが、毎日報告される感染者数を見て疲れたりしていませんか。通常の年でも寒くて乾燥した季節は、体調を崩しやすくなります。今年は至る所に消毒液が置かれています。外出時にはマスクを、帰宅後には手洗いうがいをしておられると思います。感染症はコロナだけではありません。しかし、感染予防に対する意識が高くなっていることで、いつもに増して健康維持につながっていたら何よりです。

とはいっても、コロナによる事業の苦しさ、生活のしんどさも事実です。一日も早く、いつもの日々を取り戻したいと願います。『雲外に蒼天あり』雲を突き抜けたその先には、必ず青空が広がっている。きっと日常を取り戻せる信じて、毎日を懸命に生きていきたいです。皆様と共に。



12月議会個人質問

6月は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため個人質問は無くなりましたが、12月議会では通常の40分間の個人質問をしました。

森林を守るために

森林環境譲与税を活用して、森林整備の人材育成と緊急雇用対策として森林環境保全員5名と指導員1名を雇用し、8月から10月の3ヶ月間、高尾山創造の森の整備事業を実施されました。長期間放置されていた森林や歩道周辺の草刈りや竹の伐採をして、歩道は歩きやすくなり、笹に埋もれていた古墳も多数姿を見せてきました。

市内には放置状態の森林や農地の多くが竹林化しています。市はまずは現状把握と分析を行い、有識者や市民などで構成される検討会を立ち上げ、今後の森林の保全整備の進め方についてのガイドラインを作成していくとのことです。

高尾山創造の森には市民ボランティアで管理されている水仙郷もあり、山の途中にはパノラマ展望台もあります。他市からも訪れるもらえるスポットとなるためにも、森林環境の保全は今後も継続して実施してほしいと議会で訴えています。

また、放置された森林では竹林化や倒木により土壤に光が入らず生物相が貧弱になって災害にも弱くなるとの事。防災の面でも行政として国土強靭化の観点で捉えて取り組むべきだと考えます。

コロナ禍の今だからこそ

ポイ捨て禁止条例の意義と責任を考える

柏原市には「柏原市犬のふんの放置及びポイ捨てによるごみ等の散乱に関する条例」が制定されています。市、市民、飼い主それぞれの責務について定めており、啓発看板を設置したり、環境美化推進員や地域住民と協力して環境美化に取り組んでいるところです。

ポイ捨てされた後の清掃による美化意識も大切ですが、条例の意義と責任において「ポイ捨てさせない、ふん放置をさせない」**事前の公衆衛生への意識啓発**が重要です。ましてコロナ禍で使い捨てマスクやタバコの吸い殻、ペットといえどふんの放置は衛生管理が重視されている中、不衛生です。市の役割として抜本的な意識改革をした上で啓発活動を進めるよう、議会で要望しました。



新婚補助や新生活支援で人口増加を

QRコードから
YouTubeへ
(議会動画)



財政運営について質問したところ、新型コロナの影響による経済活動の停滞などにより、**市税の大幅な減収**が見込まれ、今後の財政運営についても、社会保障経費など削減出来ない費用が増えていき、財政規模の縮小は避けられないという答弁がありました。人口が減少すると**国の地方交付金も減少**します。人口減少は大きな問題です。まして増税など厳しい現状、私は人口増加政策をして人口の母数を増やしてトータルの増収につなげるべきと考えます。

財政運営で収入を増加させるために人口増加につなげる政策をしていかなくてはなりません。そこで新生活支援事業として「**結婚新生活支援事業**」いわゆる**新婚補助制度の導入**について質問しました。市は、国が補助要件の緩和と制度の拡充を検討しており、定住・移住の側面もあり情報収集に努めしていくと答弁されました。

また、**地方の高校や大学の新卒の方**が大阪で就職する際に、地方から出てきて**大阪で住むなら柏原を選んでもらえるよう**、進学課などに市のPRチラシを置いてもらうなど積極的な営業活動をしてもらうよう要望しました。また、インセンティブとして**転入奨励金**や**移住支援金**の施策を、さらに新生活を始める方へのサポート窓口を作るなど、人口のパイを増やして税収増となるよう訴えました。

不妊治療と不育症の助成を

少子化対策として国は不妊治療助成事業の見直しが検討されており、令和3年より助成制度を拡充し、令和4年度から保険適用の開始を目指しているそうです。



大阪府で**「不妊に悩む方への特定治療支援事業」**で助成事業を実施しており、柏原の方も活用されています。議会で、市独自の不妊助成事業の導入について質問したところ、国の動向など情報収集に努め検討していくと答弁がありました。

国は不育症についても治療の保険適用を含めて支援策を検討しています。妊娠できる期間は限られていますので、**例え一年でも妊娠を望む方**にとっては貴重な一年ですので、不妊治療、不育症治療に対する市独自の助成事業を要望しました。

ムダのない、かしこく活かす柏原市を作りたい、めざすのはスマートシティ柏原

かしわらりょく

柏原力UP↑

議会&活動報告書

Vol.14
3年冬号

●コロナで減収の事業者への支援



新型コロナの影響で減収となった事業者に対して何らかの支援を、と6月議会で訴え、他会派の議員も同じく要望し、9月議会では3事業の予算がつくことになりました。

- ①市内でキャッシュレス決済をすれば20%のポイント還元
- ②府のステッカーを掲示し感染対策をしていれば5万円支給
- ③事業継続のために融資を受けていれば10万円支給

②③は速効性が期待できますが、①はキャッシュレスの条件をクリアしないといけません。告知の説明会をしていくということですが、やはり速効性と公平性が必要なコロナ対策としては、この時点でキャッシュレス決済の普及を持ち込む必要がないと考え、全世帯に商品券を配布する方が消費喚起につながるのではないかと思います。事業の効果については今後、注視していきます。

●国土強靭化地域計画



「国土強靭化地域計画」を早急に策定しなければ、国は国土強靭化に関する予算を配分なしとすると示されていましたが、柏原市ではまだ策定されていませんでした。市の歳入に大きく関わるため、令和元年12月議会で地域計画を取り上げ、策定の重要性を訴えました。当時は担当課がどこになるかも曖昧でしたが、危機管理課が主軸となり各課を取りまとめて、令和2年中に完成することが出来ました。**市の脆弱性**を洗い出して**災害に強いまち**をめざし、**市民の命と財産を守らなくてはなりません**。今後も予算獲得の手法を取り上げていきます。

●商店街に支援を



緊急事態宣言以降、外出自粛等の影響により経営が厳しい状況となっている事業者も少なくありません。当初予算でコンサルタント業者への委託事業が計上されていましたが、これまで地域の活性に取り組んできている商店街自体への予算配分を要望していました。6月議会で市内4商店街へ各100万円の新型コロナ対策予算がついて各商店街の消費促進の取組となる事業に活用されることになりました。これらの事業が商店街の活性化につながっていくことを願っています。

要望したもののが形に

●公共施設へのWi-Fi設置



7年前(平成25年)の議員1期目での初の議会登壇の際に、市域におけるWi-Fiネット環境などITインフラ整備の意義を訴え、当時「段階を経て取り組んでいきたい」と答弁されました。奇しくも新型コロナ感染症の影響により、ネットで遠隔会議やデジタル化が進み、国のコロナ対策から、**公共施設**のみですがITインフラ整備の予算がつき、Wi-Fi環境も整備されることになりました。ようやく市民の皆さんにも活用していただけるようになりました。**市域全域**にもフリーWi-FiなどのIT環境の整備をめざして今後も訴えていきます。

●養育費確保の支援新設へ



今年度予算で「養育費の保障促進補助金」事業が新設されました。養育費の受け取りについて保証会社と契約をすると、未払いが発生した場合、保証会社が立替、督促をして確実に受け取ることができるシステムで大阪府の補助金を活用する事業です。本来、養育費は子どものためのものであり、子どもが受け取る権利を有し、親には養育費を払う義務があります。払うべき人が子どもに払い、子どもを育てなければなりません。平成30年12月議会で取り上げ予算化されたことは大変嬉しいです。

この制度を利用するためには離婚時の公正証書等の法的根拠のある書類が必要となります。市には、離婚手続きの際、子どもの有無の確認を徹底して、今後の養育費の受け取りについてサポートをしていただきたいと要望をしました。

●道路行政を前へ



ようやく「西名阪自動車の周辺道路網の調査」「大阪柏線延伸検討業務」「柏原駅東地区道路網概略検討業務」といづれも調査検討業務ですが、今年度当初予算で計上され、道路行政の小さな一步が進められることになりました。しかし、新型コロナの影響により通常の交通量ではないため調査は延期となり、現在は停滞しています。これらの業務は、**西名阪道**のスマートインターチェンジ設置、旧国道の山ノ井から奈良県側に延伸するバイパス道路の整備、柏原駅東側道路網の再構築、とそれぞれの足掛かりとなるものです。来年度も必ず実行出来るよう要望します。『**柏原市の東西道路**を目指して、**市民一丸**となって行政に訴えなければ』と強く思います。

新庁舎 半年で外観はほぼ完成



6月

12月



通学路にガードレールがつきました



柏原シティキャンバスマラソン

水仙郷

長らく消えていた信号機の電光文字

山口ゆか プロフィール



市議会議員2期目

無所属(保守系)

堅下小学校、堅下北中学校卒業。

2人の子をもつシングルマザーです。

市議会の会派は

「女性超党派りんどう」です。

住まいは上市3丁目

事務所は法善寺にあります。

北朝鮮による拉致問題を風化させてはならない



北朝鮮拉致被害者家族会の代表を務めてこられた横田滋さんが6月にご逝去されました。40年以上にわたり、娘の救出に向けて訴え続けてこられましたが、御存命のうちに願いは叶いませんでした。



私は児童生徒にアニメ「めぐみ」視聴による人権教育を、と議会で訴えていますが、答弁では教職員の視聴に留まっており、一向に進んでいません。中学一年生だっためぐみさんが突然拉致され、家族にも会えず日常生活を奪われてしまった現在進行形の**人権侵害問題**が描かれており、この事実を**人権教育**として児童生徒に教えていくことが私たち大人の役割です。これからも粘り強く議会で訴えていきます。

後援会会員を募集しています ウェブサイト・電話・FAX・メールで随時受付中!
一緒に政策を考える「柏原力UPの会」の会員を募集しています

山口由華後援会

〒582-0005 柏原市法善寺2-3-23
tel. 072-921-7430 fax. 072-926-5077

Webサイト
<http://yamaguchiyuka.com>

Eメール
info@yamaguchiyuka.com

発行・編集 山口ゆか事務所 〒582-0007 柏原市上市3丁目 10-30 TEL 072-921-7430 討議資料



facebook

Instagram

YAMAGUCHIYUHA